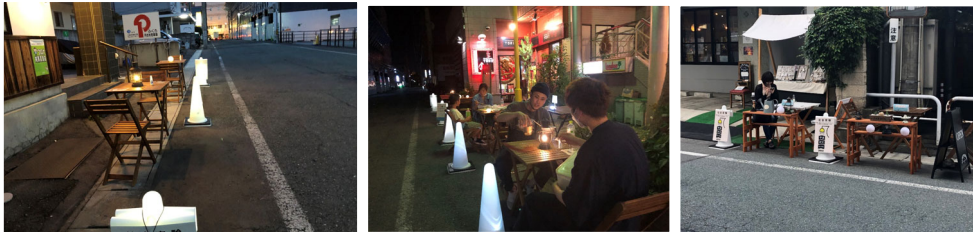


1. 社会実験の実施概要

路肩1.5mのうちW=1.0mを歩行者のための空間に転換
沿道店舗の方々と市役所・コンサルが協働で実施

- ・9月11日(土)11:30～18:00 ・9月17日(土)17:30～21:30 ・9月18日(日)11:30～18:00
- ・9月23日(金・祝)11:30～18:00 ・9月24日(土)11:30～21:30 ・9月25日(日)11:30～18:00



▼役割分担

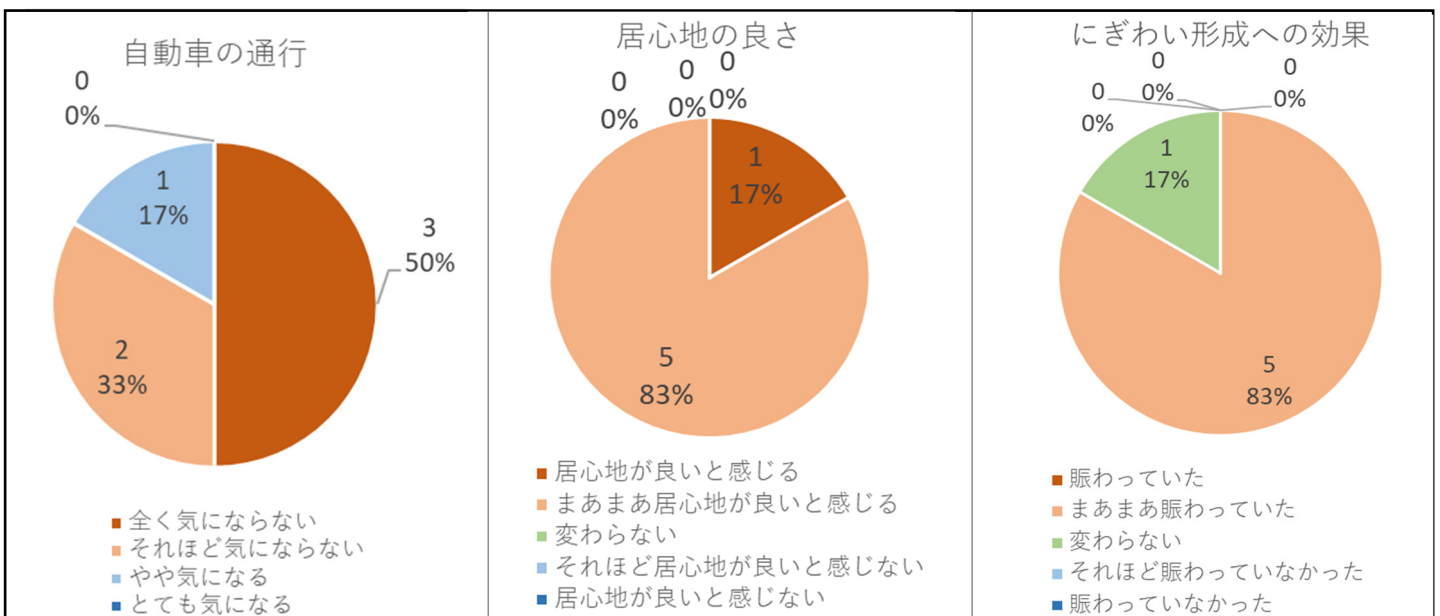
項目	沿道店舗 (4店舗)	役所 コンサル
テイクアウトメニューの準備	○	
ポップアップストアの誘致	○	
交通規制材(カラーコーン)等設置・撤去		○
テーブルベンチ・プランター等什器設置		○
テーブル・ベンチふき取り		○
実施前清掃(カラスの糞等の除去)	○	○
終了時移動の声掛け	○	
店舗サインの設置	○	
ゴミ回収	○	
完了後清掃		○



2. 社会実験の結果

(1) 利用者アンケート(回答者数6名)

- ・自動車について、ほとんどの人が気にならないと回答し、安心して道路空間を活用できることがわかった。
- ・ほとんどの回答者が、「まあまあ賑わっていた」と回答した。小さな取組みながらも、まちなかの賑わいに貢献することがわかった。
- ・すべての回答者が「居心地が良い」「まあまあ居心地が良い」と回答しており、魅力的な都市空間形成に寄与することがわかった。



(2) 出店者アンケート(回答店舗数4件)

- ・取り組みへの評価は「良い取組だった」が3件、「どちらかと言えば良い取組ではなかった」が1件と、高評価が多いが店舗により分かれた。
- ・無料であれば継続したい意向が複数確認できたほか、イベント時には有料(千円以内)でも実施を希望する店舗も見られ、今後の継続実施に期待を持てる。
- ・自身が実施できそうなこととして、「物品の出し入れ」「屋外を活用する出店者の募集・手配」、「テイクアウトメニューの準備・拡充」「実験前の道路清掃(鳥の糞等)」「実験後の道路清掃」「SNSによる取組の広報、発信」がそれぞれ1件と、取組に向けた前向きな回答が得られた。
- ・継続実施に必要な支援は、「各種手続き支援」4件、「レンタル」、「屋外用ヤタイ・テント等の手配、組み立て」「広報」各2件、「その他(道路の清掃)」1件と多岐にわたった。特に手続き支援は重要な課題である。
- ・課題や負担としては、全ての店舗で「屋外まで目が行き届かない/そのためのスタッフ確保はできない」としており、道路の安全確保や出し入れ、道路清掃、別途容器購入等多岐にわたる。
- ・実施曜日は全ての店舗で休日・今回と同じ時間が多いが、毎日実施を希望する積極的な店舗も見られた。

3. 今後の取組

(1) 継続実施に向けた支援

- ・継続的な取組実施に向けて、まずは「行政による手続き等の支援」「テーブル・ベンチ・カラーコーン等のレンタル」の実施を検討する。

★協議・調整・相談が必要な相手

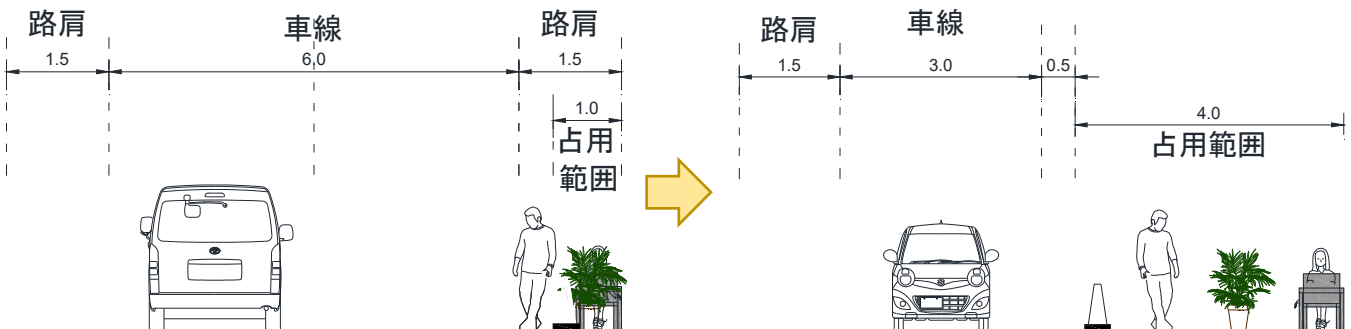
- ・山形県警(道路使用許可) ・山形市道路維持課(道路占用許可)
- ・山形市保健所(屋外に配膳を実施する場合)



▲テーブル・イス・カラーコーン

(2) 道路占用・使用範囲の拡大検討

- ・山形県警や道路管理者と協議・調整を行い、道路の占用・使用可能は範囲の拡大や歩行者天国実施の可能性を探る。

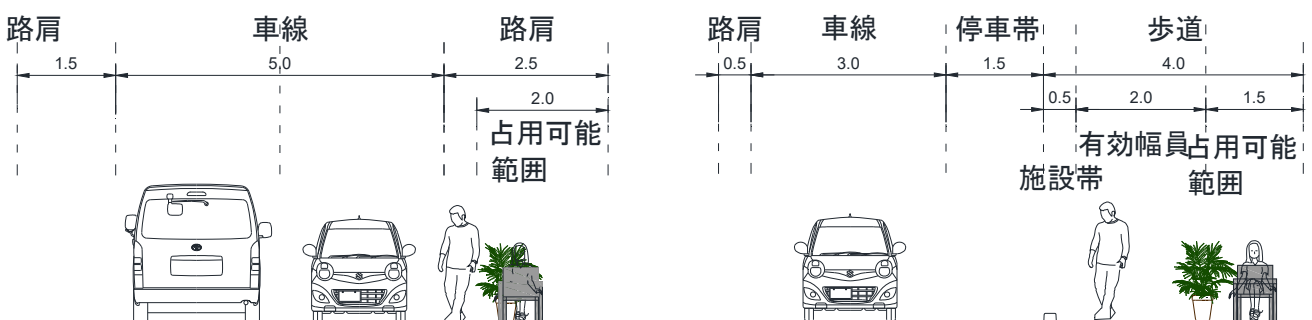


※一方通行とする場合の進行方向は、決定しているものではありません。

▲拡大の一例

(3) 道路構造の再編検討

- ・将来を見据え、歩道の設置や一方通行化等、より道路利活用をしやすい道路構造の見直しを検討する。
- ・検討にあたっては、沿道の荷下ろし活動や駐車場への乗入を考慮したものとする。



※一方通行とする場合の進行方向は、決定しているものではありません。

▲見直しの一例(路肩の転換)

▲見直しの一例(一方通行化)